

令和4年（2022年）消防統計

令和4年（2022年）の火災、救急、救助の活動状況がまとまりましたので公表します。

概 略

■ 火 災

- ・発生件数＝42件（前年比4件増）
- ・損害額＝22,889千円（前年比26,460千円減）（未確定値）
- ・死者＝5人、負傷者＝6人

火災種別は、建物火災27件（前年比12件増）、林野火災0件（前年比3件減）、車両火災3件（前年比4件減）、その他火災12件（前年比1件減）です。

■ 救 急

- ・出場件数＝3,477件（前年比439件増）
- ・搬送人員＝3,127人（前年比358人増）

事故種別では急病が全体の62.4%を占めています。
応急手当講習の普及活動は、指導回数194回、受講者数3,602人です。

■ 救 助

- ・出場件数＝44件（前年比0件）
- ・活動件数＝18件（前年比2件減）
- ・救助人員＝22人（前年比3人減）

事故種別では交通事故が全体の54.5%を占めています。

※詳細については別紙をご覧ください。（速報値であるため、消防年報とは異なる場合があります）

お問い合わせ先

中津川市消防本部 予防課 担当者：西尾
電話：0573-66-1619

令和4年に発生した火災の状況

1 火災の概要

令和4年に発生した火災は42件で前年より4件増。しかし、損害額22,889千円で前年より26,460千円減額しました。火災による死者は5名、負傷者は6名発生しました。

火災種別ごとの件数では、建物火災が27件、林野火災が0件、車両火災が3件、その他火災が12件でした。出火原因別件数では、ストーブ2件、たき火12件、放火の疑い1件、配線器具2件、電気器具1件、その他6件、不明・調査中18件です。

2 火災種別

(△印減)

種別	件数			焼損床面積		損害額(千円)		
	R4年	R3年	対比	R4年	R3年	R4年	R3年	対比
建物	27	15	12	792 m ²	1,785 m ²	22,747	31,198	△ 8,451
林野	0	3	△ 3	0 a	35 a	0	23	△ 23
車両	3	7	△ 4			0	11,029	△ 11,029
その他	12	13	△ 1			142	7,099	△ 6,957
計	42	38	4			22,889	49,349	△ 26,460
焼損棟数	20	21						
り災世帯	14	17						
死者	5	3	2					
負傷者	6	4	2					

3 地区別・出火原因

(△印減)

地区	R4年	R3年	対比
中津	9	10	△ 1
苗木	3	3	0
坂本	9	8	1
落合	2	1	1
阿木	2	2	0
神坂	2	1	1
山口	0	1	△ 1
坂下	2	2	0
川上	0	1	△ 1
加子母	0	3	△ 3
付知	2	2	0
福岡	5	2	3
蛭川	5	0	5
中央道	1	2	△ 1
計	42	38	4

(△印減)

出火原因	R4年	R3年	対比
たばこ	0	1	△ 1
こんろ	0	1	△ 1
ストーブ	2	0	2
電灯・電話等配線	0	0	0
たき火	12	9	3
火入れ	0	0	0
放火	0	1	△ 1
放火の疑い	1	0	1
配線器具	2	0	2
マッチ・ライター	0	1	△ 1
電気機器	1	1	0
煙突・排気管	0	3	△ 3
その他	6	12	△ 6
不明・調査中	18	9	9
計	42	38	4

4 月別火災発生件数

(単位：件) (△印減)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R4年	2	7	10	2	8	1	1	1	0	1	7	2	42
R3年	4	7	4	3	0	1	3	3	2	4	5	2	38
対比	△2	0	6	△1	8	0	△2	△2	△2	△3	2	0	4

令和4年救急活動状況

1 救急業務の実施状況

令和4年の出場件数は3,477件、搬送人員は3,127人で、前年に比べ出場件数で439件、搬送人員で358人増加しました。1日平均出場件数は9.5件となりました。

(△印減)

	令和4年	令和3年	対比
出場件数	3,477 件	3,038 件	439 件
搬送人員	3,127 人	2,769 人	358 人
1日平均出場件数	9.5 件	8.3 件	1.2 件

2 救急隊別出場状況

最も多く出場しているのは中消防署救急隊の1,717件で1日平均4.7件でした。

署別	救急隊別	出場件数(件)	1日平均(件)	出場割合(%)
中署	中消防署	1,717	4.70	49.4%
	坂下分署	324	0.88	9.3%
西署	西消防署	635	1.74	18.3%
	蛭川分署	201	0.55	5.8%
北署	北消防署	429	1.18	12.3%
	加子母分署	171	0.46	4.9%
計		3,477	9.5	100.0%

※1日平均は1月～12月までの365日で計算しました。

3 事故種別・地区別救急出場件数

出場件数の内、最も多い急病が全体の62.4%を占め、続いて一般負傷、その他の順となりました。

(単位：件)

事故種別 地区別		火災	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
		合計	14	7	159	51	11	575	5	32	2,168	455
		0.4%	0.2%	4.6%	1.5%	0.3%	16.5%	0.1%	0.9%	62.4%	13.1%	100%
内 訳	中津	5	0	55	13	3	203	2	5	737	292	1,315
	苗木	1	0	12	4	0	37	1	5	146	13	219
	坂本	2	1	24	11	7	95	1	4	362	27	534
	落合	2	0	4	2	0	29	0	1	104	4	146
	阿木	0	0	4	0	0	13	0	1	63	12	93
	神坂	0	0	1	0	0	11	0	1	23	0	36
	山口	0	0	6	0	0	7	0	2	46	2	63
	坂下	0	0	2	3	0	36	0	6	137	38	222
	川上	0	0	0	2	0	9	0	1	23	2	37
	加子母	0	1	4	6	0	23	0	0	69	11	114
	付知	2	1	5	2	1	42	0	2	155	20	230
	福岡	0	2	18	5	0	46	1	3	200	31	306
	蛭川	1	1	5	3	0	24	0	1	97	3	135
	中央道	1	0	18	0	0	0	0	0	5	0	24
	管轄外	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3

4 応急手当講習の状況

市民等に対する応急手当講習会は、194回開催され、3,602人が受講しました。

	入門 コース	普通救命講習			上級	指導員	普及員	その他	再講習	計
		I	II	III						
回数	71	20	0	3	3	2	0	89	6	194
人数	1,994	165	0	38	16	8	0	1,367	14	3,602

※ 「再講習」とは普及員、指導員の資格更新のための講習です。

令和4年救助活動状況

1 事故種別

令和4年の出動件数は44件、活動件数は18件、救助人員は22人で、前年と比較し出動件数は変わらず、活動件数は2件減、救助人員は3人減でした。

種別		出動件数（件）			活動件数（件）			救助人員（人）		
		R4年	R3年	対比	R4年	R3年	対比	R4年	R3年	対比
火災	建物	1	0	1	1	0	1	0	0	0
	建物以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通事故		24	24	0	9	10	△1	10	13	△3
水難事故		7	5	2	2	4	△2	3	5	△2
風水害等自然災害		0	0	0	0	0	0	0	0	0
機械による事故		1	0	1	1	0	1	1	0	1
建物等による事故		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス及び酸欠事故		0	1	△1	0	0	0	0	0	0
破裂事故		0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事故		11	14	△3	5	6	△1	8	7	1
合計		44	44	0	18	20	△2	22	25	△3

2 月別（活動件数）

区分		月別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
交通事故	R4年	2	0	0	1	0	1	2	0	1	0	1	1	9
	R3年	0	0	0	3	0	0	1	1	1	2	2	0	10
	対比	2	0	0	△2	0	1	1	△1	0	△2	△1	1	△1
交通事故以外	R4年	0	0	1	0	1	2	0	2	0	3	0	0	9
	R3年	1	0	0	0	1	2	2	2	0	1	1	0	10
	対比	△1	0	1	0	0	0	△2	0	0	2	△1	0	△1